

第五次我孫子市子ども総合計画（案）に対する  
意見募集（パブリックコメント）結果【大人からの意見】

整理 番号	提出されたご意見	ご意見に対する市の考え方
1-1	<p>意見</p> <p>こどもの居場所について こどもの居場所について計画内で検討していただいていると思いますが、学校ではこどもの居場所がなくなってきているように感じます。 特に、先生方のワークライフバランスを重視し過ぎる傾向があり、登校時刻が遅くなり新木小では 8 時にならないと昇降口が開きません。 共働きも多く、8 時前には通勤に出るご家庭が多いのではないのでしょうか。そのため、昇降口前にこどもがたまっている状態が続いています。 放課後はあびっこを始めとした居場所がありますが、朝昇降口前にこども達がたまっていると、不審者が来た場合一斉に危ない状態になる等も考えられます。 こどもを養育する家庭環境を考えて、先生方のワークライフバランスとこども達の居場所を検討していただけたらと思います。</p> <p>理由</p> <p>こどもが安全に通えるように担当課をまたいで横断的に検討していただきたいため</p>	<p>新木小学校の勤務時間は 8 時～16 時半です。職員の出勤前に昇降口を開け、教室等で事故等があった場合に対応できないため、職員の出勤時刻の 8 時に昇降口を開けるようにしています。ただし、気候等の状況で児童の健康に影響が出るような場合には、少し早く昇降口を開ける等の対応を行っています。</p> <p>また、安全面の配慮として、登下校時には安全管理員が門等に常駐し、不審者等の対応を行っています。</p> <p>保護者の働き方が多様化しているため、朝の時間帯のこどもの居場所づくりについて、保護者のニーズを確認しながら検討します。</p>
2-1	<p>意見</p> <p>湖北地区に住んでいると、小さい子どもを連れてアピスタや手賀沼公園へ行くとなると、車で行くしかなく、(電車も 1 時間に 2 本しかありませんし、バスも我孫子駅まで行きません。湖北から手賀沼周辺へのアクセスが悪く、我孫子市のイベントなどに参加しにくいです。せっかく色々計画実施していただいても、湖北地区の子どもは取り残されています。アクセスが悪いため。</p> <p>手賀沼周辺の遊歩道の整備とともに、宇都宮ライトレールのような市内の路面電車、沼のほりを走るケーブルカー、水上バス、など市民の足となるものを検討いただけませんか。 我孫子最大のポイント手賀沼周りをサイクリングや徒歩だけでなく、電気など動力を使った移動手段で快適に移動できたら、観光地としてと良いと思います。ご検討お願いします</p> <p>理由</p> <p>湖北から我孫子までのアクセスが悪いので大変困っています。 病院なども我孫子駅周辺までいかない和无い場合が多く、手賀沼ふれあいラインに手賀沼・我孫子駅行きの交通手段が欲しいです</p>	<p>アピスタや手賀沼公園へのアクセスとしては、湖北駅南口発の「天王台駅・市役所経由、我孫子駅行き」の路線バスがご利用いただけます。</p> <p>また、あびこ名戸ヶ谷病院や我孫子聖仁会病院の送迎バスが湖北方面を通行していますので、その目的に合わせて事前に時刻表を確認の上、ご利用くださいますようお願いいたします。</p> <p>電車や路線バス以外の公共交通については、利用者の見込みや今後の観光施策等を含めて検討していきます。</p>
3-1	<p>意見</p> <p>118 ページの安全と安心についてです。その面についてはパトロールやユニバーサルデザインなどのもの以外にも、街灯を増やすなどの安全面も書いてほしいです。</p> <p>理由</p> <p>夜歩いている時に街灯があまりなくて怖いと思ったからです。</p>	<p>自治会エリアに属する街路灯は、これまで自治会で整備を実施していましたが、平成 30 年度から市へ街路灯管理を移管しています。令和 6 年 4 月の段階で、149 自治会のうち 148 自治会が市への移管を完了しています。移管にあたっては、自治会内の街路灯整備が完了したことを前提としていることから、開発行為に伴う宅地造成等の変化が生じた場合、または自治会エリア外に新設が必要となった場合に、街路灯の新設を検討しています。</p> <p>そのため、原案のままとはしますが、街路灯新設をご要望の場合は、近隣の住環境等に影響を与えることがあるため、自治会を通して市道路課へご相談ください。</p>

	<p>(p98)「1-2 子育て支援サービスと教育・保育サービスの充実」の預かり保育の内容について。(所管課 子ども支援課) 通番 7 小学生の預かり保育について。 現在はこのような支援サービスが我孫子市には存在していませんが、具体的にどのような保護者を対象として、どのような利用方法を想定して小学生を認定こども園・私立幼稚園・私立保育園で預かりをするのか知りたいです。想定している利用料、利用条件(学童利用があること)、利用年齢、利用時間帯、平日だけなのか、保育者は保育士に限るのかなども含めて回答が欲しいです。現行の休日保育制度の代替のような利用形態にさせていただきたいです。</p>	<p>市では、限られた経営資源の中で持続可能な財政運営を行うため、補助金や使用料等の見直しを行いました。その結果、休日保育事業については同様の事業にファミリーサポートセンターがあるため、同様の事業を行うことへの税負担や、平日利用者と休日利用者の負担の公平性、公正性を検証した結果、終了することとなりました。今後はファミリーサポートセンターの利用状況を踏まえ、制度について研究していきます。</p> <p>現在、湖北白ばら幼稚園において小学生の預かり保育を実施しています。利用条件は市の学童保育室の入室資格者の要件を満たすと認められるおおむね10歳未満の児童で、時間帯は放課後及び学校の長期休業中です。保育者は保育資格又は幼稚園若しくは小学校の教員の免許を有している職員とその補助をする職員が担当し、利用料金は園が設定しています。湖北白ばら幼稚園においては、上記の他平日朝の預かり保育も実施していますが、小学生の預かり保育事業については、増加する学童保育への需要に対応するための事業であることから、休日の預かり保育は実施していません。昨今の家族形態や働き方の多様化に対応していけるよう、調査と研究を進めていきます。</p>
4-1	<p>休日保育制度が令和6年度で終了することが、令和6年秋ごろに利用者に突然知らされました。私は、国家公務員のシフト勤務者で、最近までひとり親でした。現在でも、夫は遠距離なので私のひとり子育ては変わりません。</p> <p>ひとり親で休日(日曜、祝日、年末年始)も小学生の子供を預けて仕事に行くことは金銭的にもかなり負担になるのですが、休日保育制度に非常に助けられており、近隣自治体にはない支援サービスに、私は我孫子が地元ではないのですが我孫子市を選んで子育てしてよかったと誇りに思っております。「子育てしやすいまち我孫子」とはその通りだと思いました。</p> <p>休日保育制度がなくなれば、ファミリーサポート事業を利用するようになると思いますが、1時間900円ですので、私の場合、1日仕事で預けると1万円以上保育料がかかります。ひとり親にとっては、働きに行かなければ収入が減りますし、子供を預ければ1万円以上支払うので、休日に1日働いた金額以上が1日の保育料として消えることになります。休日保育制度の廃止は、ひとり親にとっては収入減にもつながる大きな問題です。共働き世帯の支援に注目が集まりがちですが、今後の働き方や家族形態の多様性を考え、ひとり親支援も視野に入れた行政支援が必要なのではないのでしょうか。</p> <p>また、「休日保育の利用者が少ないから廃止」では、今後ますます子どもの数が減っていくことが予想される中で、利用者が少ない事業から廃止とする考えは危険です。利用者が多い高齢者の事業だけが残ることになりませんか。行政が子育ての支援をしてくれるから、途中でどんな家庭状況に陥ったとしても安心して子どもを産んで育てようという気持ちになるのであり、子育て支援制度を利用者が少ない順から廃止していくことは、これからの若い人たちの不安をますます煽ることになり、女性が働きながら苦勞してまで子育てする気になれないのではないのでしょうか。子育てすることが罰を受けているように感じてしまうようなことではいけないと感じております。このような理由から、休日保育の代替となるような制度を望んでおります。</p> <p>幼稚園や保育園などでの小学生の預かりを計画しているのであれば、これまでの休日保育制度のように休日にも預かって、時間帯はより幅広に設定し(例えば朝7時から夜7時まで)、利用料は1日1500円から2000円などとし、柔軟な利用条件とするなどの検討をお願いしたいです。保育者が保育士であれば利用料金が上がるかもしれませんが、1日3000円以内などが利用しやすいと思います。早期の支援サービス開始をお願いしたいです。</p> <p>どうか、行政からの支援から漏れてしまいがちなシフト勤務者や、ひとり親にも子育てしやすいように支援サービスをお願いいたします。</p> <p>また、子育て支援サービスは切れ目なく、突然終了することなく継続することが大切だと思いますので、持続可能な対策をお願いいたします。</p>	

5-1	意見	<p>子供の自殺が増加傾向にあり、去年は千葉県は年間平均自殺者数が30人以上というニュースがあります。この計画では子どもに対しては人間関係による様々な困難・ストレスへの対処法とありますが、具体的には学校でどのようなことをやっているのでしょうか。また、女子生徒の自殺者数が男子生徒より上回ったとのことですが、女子生徒に対する対策や、自殺未遂をした子へのフォローなどについての対策などはどのようなことをやっていますか。</p>	<p>我孫子市では、自殺総合対策大綱に基づき、「我孫子市のちを支え合う自殺対策計画」を策定し、自殺対策を推進しています。施策の中で「子ども・若者への支援」を推進し、全ての子どもを「子どもの権利」の主体である多様な存在として尊重し、子どもたちの悩みに寄り添った切れ目のない支援を行っていくことを示しています。また、我孫子市では令和4年まで8年間20歳未満の自殺者はいませんでしたが、令和5年に1名の方が自ら命を断ってしまいました。このことを踏まえ、令和6年度は若年層が興味を持ちやすいデザインの自殺予防に関する啓発物を作成し、市内幼稚園、保育園、小学校、中学校等に配布しました。また、障害者支援課では小学6年生から中学3年生を対象に、精神疾患の症状や相談窓口を掲載した「メンタルヘルス啓発パンフレット」を配布しています。</p> <p>学校では、「SOSの出し方教育」を行い、悩みや不安などを一人で抱えず誰かに伝えて良いことを子どもたちに伝えています。心身の健康保持増進や温かい人間関係作りなど、日々の教育活動で学べる環境をつくるとともに、心の教室相談員やスクールカウンセラー、学校以外の相談窓口についても周知しています。児童生徒の様子の変化に気づけるよう、学校と家庭とが連携しています。</p> <p>なお、学校や保護者から自殺念慮・企図（未遂）のある児童生徒の相談が入った場合は、必要に応じて医療機関や関係機関と連携しながら保護者や児童生徒の面談を行います。</p> <p>今後の自殺対策については、いただいたご意見も含めて検討していきます。</p>
	理由	<p>子供の自殺を減らす環境を作ることも子供が安心して暮らせることにつながると思います。</p>	
6-1	意見	<p>小学生ともうすぐ小学生になる孫がいますが、休みの日に取手駅前の屋内遊び場に行ったり、今度は柏駅前のところに行こうと話しているのを聞いて我孫子にはないのかと聞いたところ、我孫子駅前にある施設は未就学児までしか利用できないのだと言っていました。</p> <p>我孫子市は、家と学校以外の子どもが安心して遊べる場所が少ないと、若い方からも聞いたことがあります。</p> <p>「子ども向けやさしい概要版案」のほうに、子どもの居場所として6つほど書かれていましたが、子ども食堂はいつでも気軽に行ける場所とは思えないですし、お祭りは年に数回しかなく、図書館では自由に遊べません。公園はたくさんありますが、天候が悪い時や、夏場は猛暑でとても屋外では遊べないそうです。</p> <p>勉強だけでなく、子どもは遊びを通して成長します。ゼロから新しい施設を作るのは難しいですが、現在空きのある市の施設や、商業施設の一部など利用して、他市にあるような屋内遊び場をぜひ我孫子市にも作ってほしいと思います。</p>	<p>我孫子市には児童館がないため、先進的に、小学校にあびっ子クラブを整備してきました。小学生を対象に、放課後や長期休暇に市内13の全小学校を遊び場として開放しています。あびっ子クラブでは、地域の方々の協力を得て、囲碁や箏、ショートテニスなど、様々な体験活動の機会も提供しています。</p> <p>また、イベントについては、市ホームページのイベントカレンダーで確認できるほか、我孫子市LINE公式アカウントからイベント情報を受け取ることができます。市が開催する大きなおまつりのほか、科学や工作などを学ぶ講座や読み聞かせの会、舞台鑑賞、市内で活動している団体が主催するイベントなどもたくさんありますので、是非足を運んでみてください。</p> <p>現在、我孫子市には、子どもの居場所として、あびっ子クラブのほか、近隣センターや図書館、公園、学習支援教室、子ども食堂などがありますが、いただいたご意見も含め、国が策定した「こどもの居場所づくりに関する指針」に基づき、調査と検討を進めていきます。</p>
	理由	<p>このような政策は、子育て中の若い方のためでもあり、若い方に住み続けていただくまちづくりという意味でも大切だと思います。</p>	

	意見	<p>教育・保育の提供と、不登校対策や幼保小連携事業等の推進について、少し整合性が取れていないような印象を受けました。なめらかな接続を目指して、入園時からなるべく希望の地区の教育保育施設に、誰でも入れるようになるとより子供や親にとって優しい街になるのではないかと思います。</p>	<p>幼保小連携事業は、なめらかな接続を目指して、様々な取り組みを実施していますが、その一つとして、学校と園との交流活動があります。交流については、幼稚園児は特に他地区からバスで通園している子どもが多いため、自分が通う学校との交流というよりも、学校という場所を知って、入学への期待感を持てるようにすること等を目的としています。</p>
7-1	理由	<p>計画書案 52 ページにおいて、「市は、教育・保育を提供するために、保護者や子どもが居宅等から容易に移動することが可能な区域を定めること」とあり 5 地区を圏域に設定していますが、ニーズが多い地区では定員の弾力化や市内全域でカバーするとあります。</p> <p>実際に子育てしていると、希望の地区に入れず、やむを得ず自宅から離れた園に入園する、そのため、小学校入学時は知り合いがほとんどいない状態で入学するという状況が多いことに気がきました。心の支えである友達がほとんどおらず、慣れない環境での学校生活がスタートし、学校に馴染めず、教室に入れず、別室登校や付き添い登校をしていたケースを何件も見聞きしています。</p> <p>一方、近年、我孫子市においても、不登校児童生徒の増加が問題視され、校内教育支援センターなどの整備も推進していただいているところです。また小1プロブレム解消のため、なめらかな接続を目指して、幼保小連携事業等も推進していただいています。</p> <p>現場の努力や、問題が起きてからの対策に力を入れるとともに、希望の地区の教育保育施設に入ること、自然となめらかな接続につながり、困る家庭や子供が減るのではないかと考えたからです。</p> <p>財政面などの問題で、施設の整備は難しい部分があるかもしれないですが、困っている子供や家庭が少数派ですが、数多くいるので知っていただきたく、意見を提出します。</p>	<p>教育保育施設への入園に関しては、保護者の希望を可能な限り踏まえるという観点から、申し込みの多い 4 月入園については市が利用調整を行い、5 月入園以降は各施設の空き状況を踏まえ、保護者が希望の施設に直接申し込み、各施設で利用調整を行っています。しかし、各施設には定員が定められているため、弾力化したとしても、その定員以上の申し込みを受けることはできず、全員が希望どおりの園に入園することは難しい状況です。</p> <p>また、就学前児童数が年々減ってきている中で、新規に施設を建設することも難しいのが現状です。市では、今後も保育園等整備計画に基づき、就学前児童数の推移と教育・保育ニーズを踏まえながら、新設園の必要性の有無について検討していきます。</p>